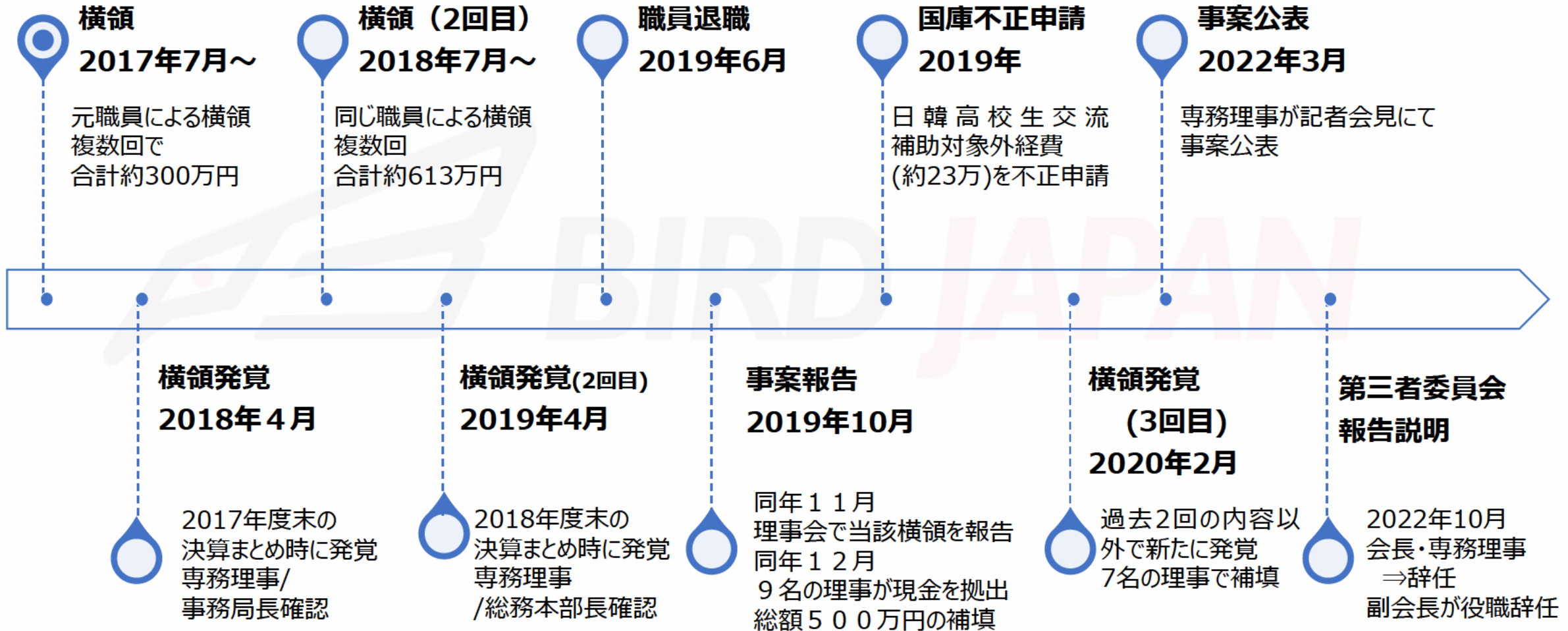


日本バドミントン協会のガバナンス改革



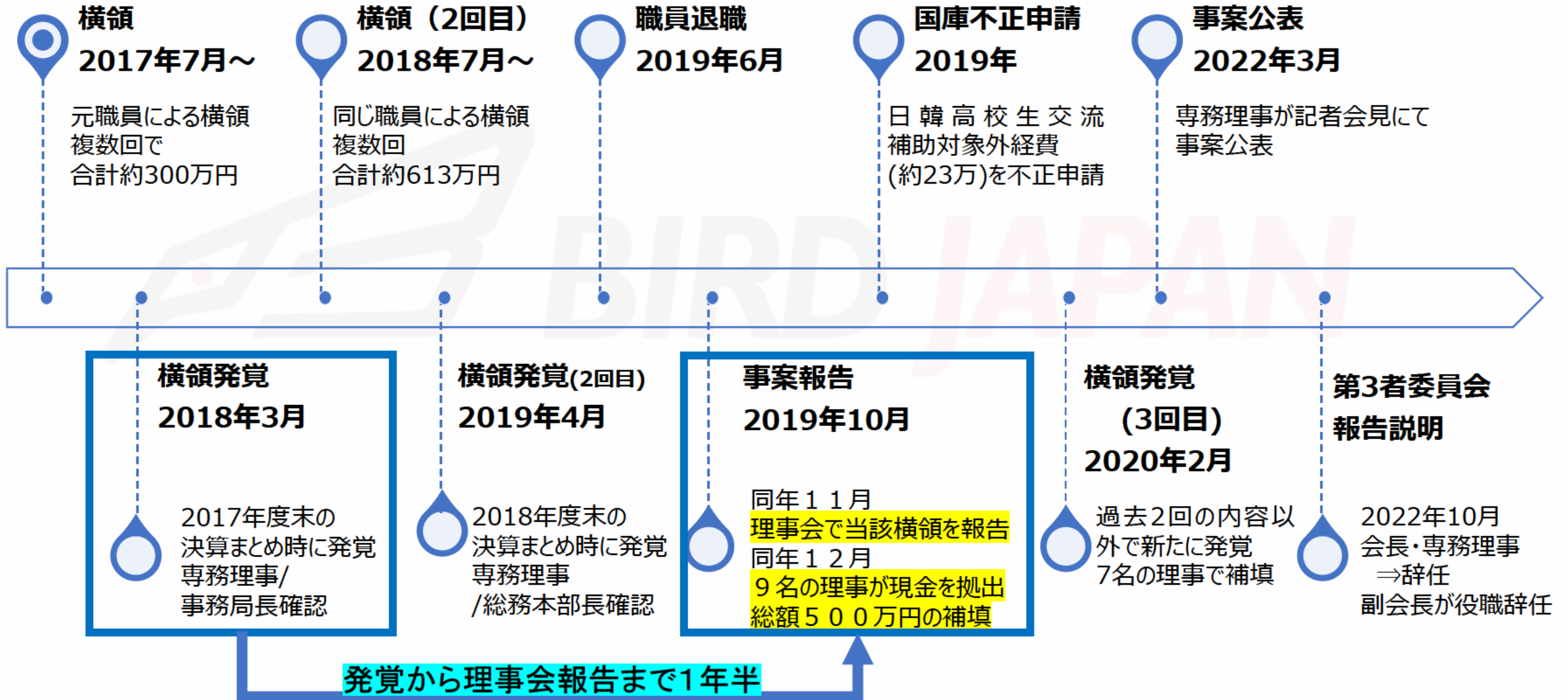
2023年5月30日
日本バドミントン協会
副会長 村井満

日本バドミントン協会 不祥事案

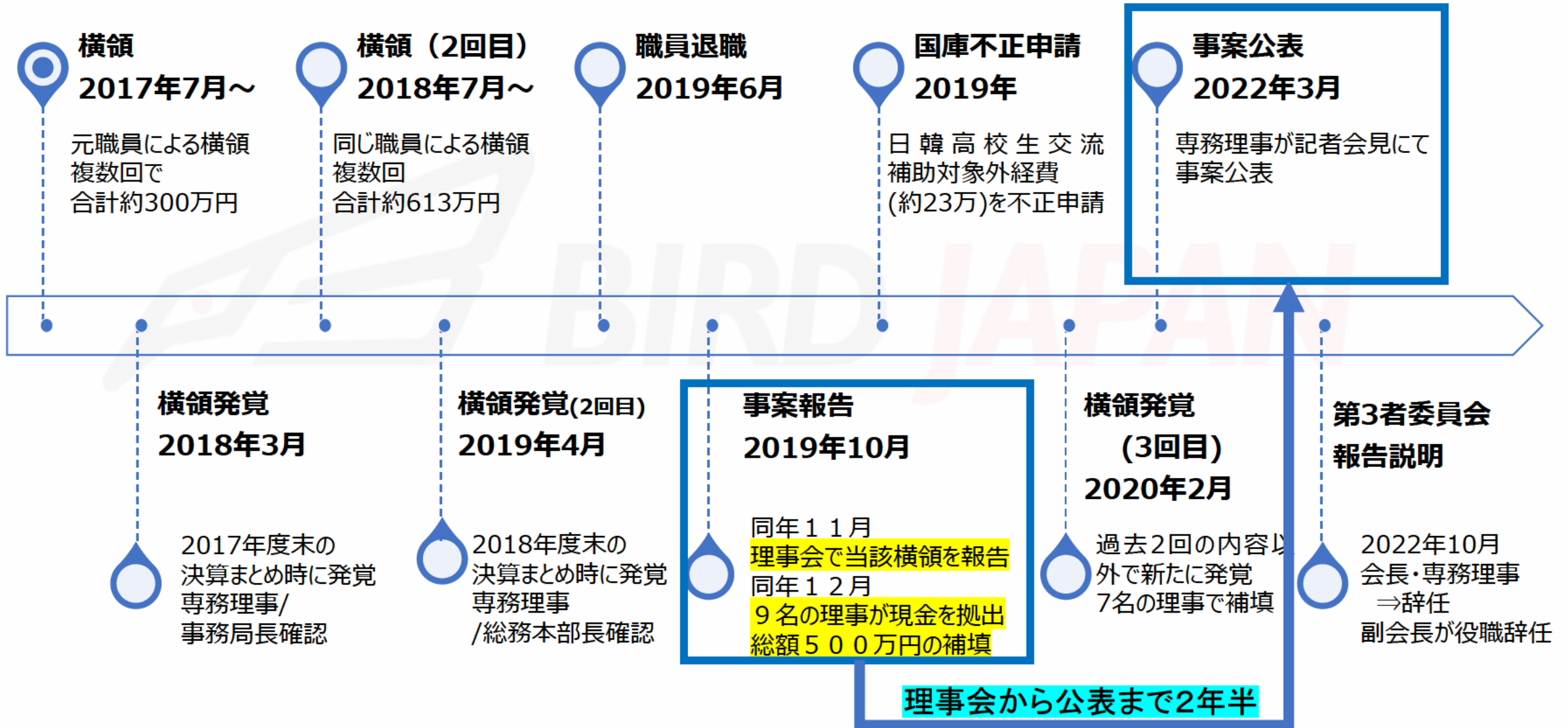


※当協会公表資料より

日本バドミントン協会 不祥事案



日本バドミントン協会 不祥事案

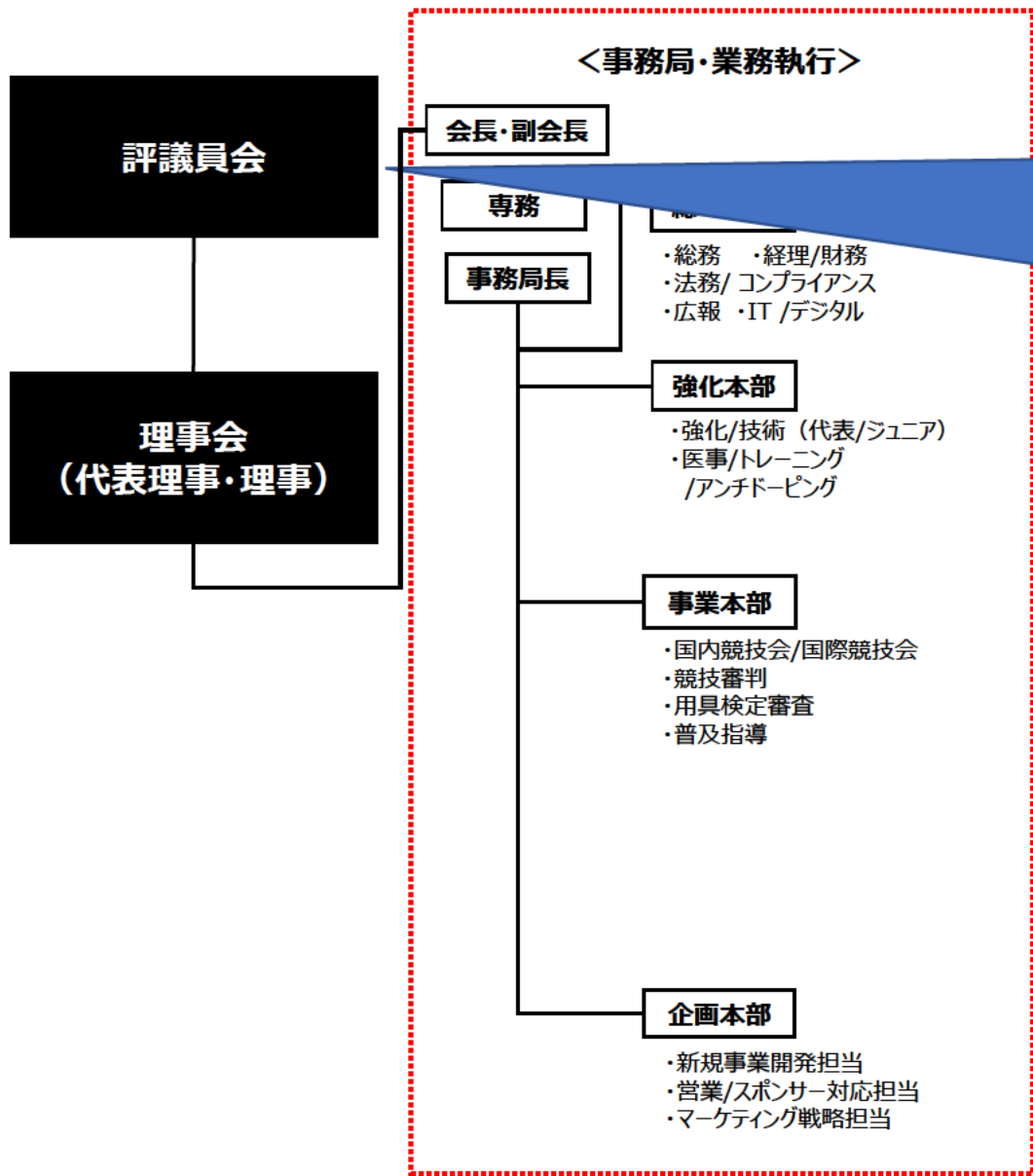


課題の本質 「悪意なき罪」

- ・同質性(男性中心、バドミントン関係者中心、気心の知れた身内は学閥・派閥の温床)
↓
- ・閉鎖性(身内に都合の悪いことは伏せる、公表に時間をかける、反対意見は遠ざける)
↓
- ・内向性(外部のプロや異能な人材を登用しない内向きのマネジメント風土)
↓
- ・刻々と変化する社会規範や経営環境に適応できなくなる可能性が増す
↓
- ・社会やアスリートの期待を裏切る組織的停滞、混乱を招く

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



克服すべき課題1 【評議委員会】

バドミントンの登録人口は男女半々。



評議委員は男性50名、女性3名(5.6%)

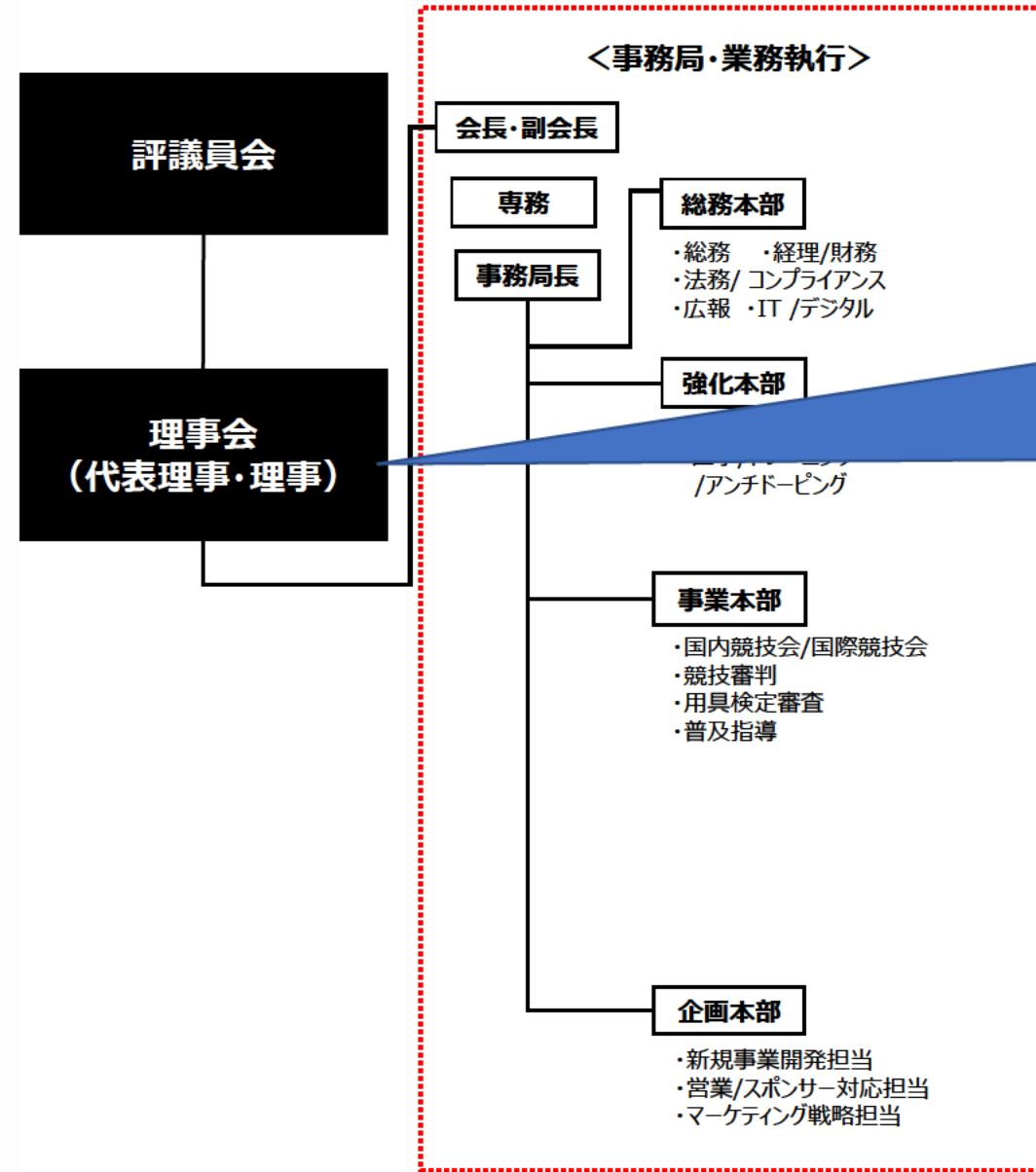
【多様性の確保】

・2025年(次期改選期)では女性比率40%以上を目指す。

・全国を9ブロックに分け、各ブロックから男女1名ずつの評議委員を選出。

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



克服すべき課題2 【理事会】

理事会構成メンバー20名近くはほぼ全員がバドミントン界出身者で占められている。



男性中心の閉ざされた同質性の高い組織

【社会の目、プロの目】

- ・本格的な役員等候補者選出委員会を組織。
- ・理事のうち8割が社外理事。業務執行理事は2割程度。社会の視点から監督する。
- ・社外理事は弁護士、会計士、企業経営などプロの視点から監督する。
- ・男女は半々の構成をめざす

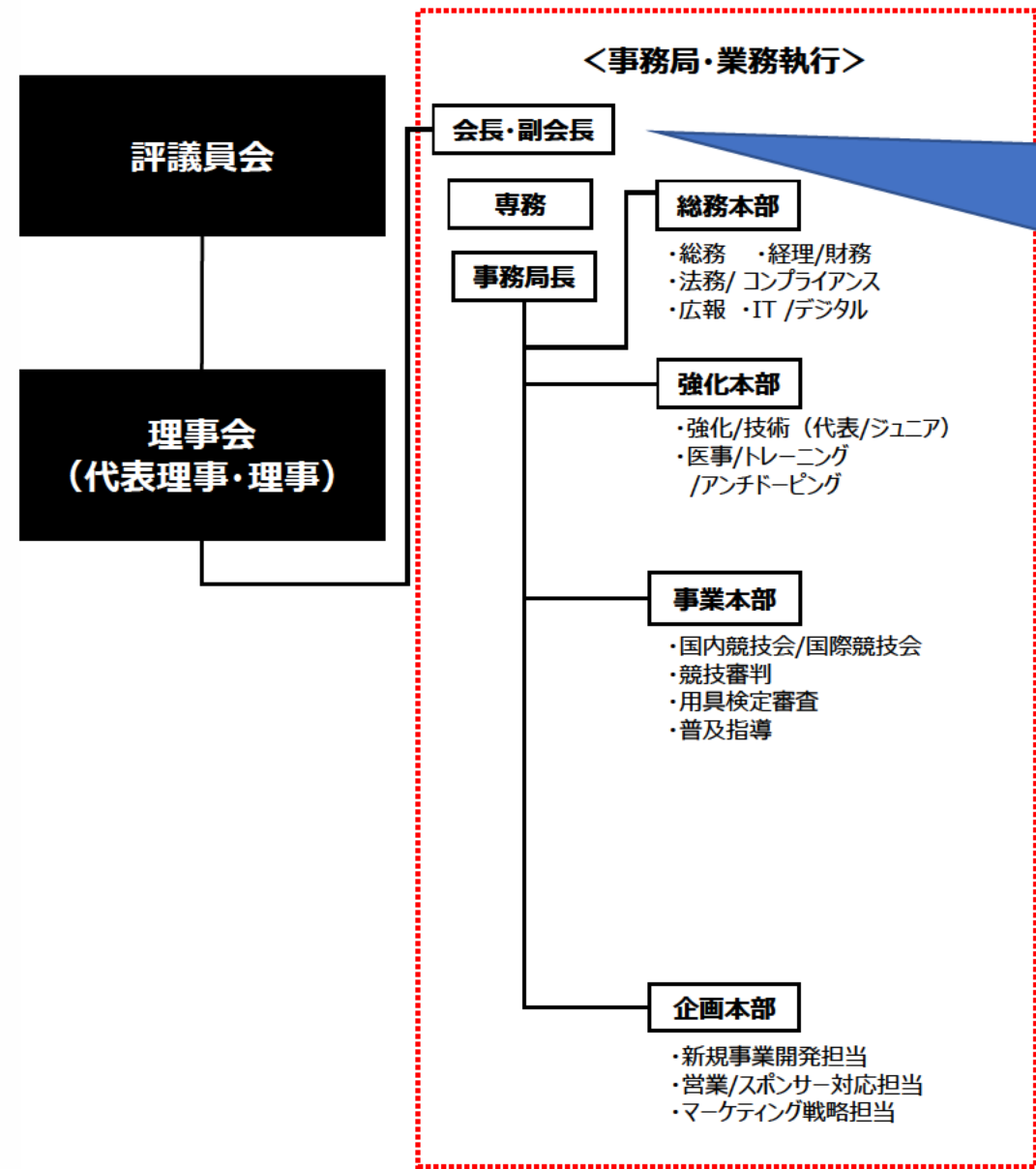
役員等候補選出委員会候補(全8名)

資格	氏名	所属
委員長 (外部有識者)	鈴木 大地	順天堂大学スポーツ医科学推進機構 機構長 元スポーツ庁長官
外部有識者	安田 結子	ボードアドバイザー シニアパートナー 元ラッセル・レイノルズ日本代表 日本ラグビー協会理事
外部有識者	広瀬 史乃	弁護士 日本バスケットボール協会監事
評議員	杉山 敏充	地区代表委員長
評議員	前田 正志	地区代表副委員長
会長	中村 新一	日本バドミントン協会会長
専務理事	毛利 達彦	日本バドミントン協会専務理事
監事	民谷 千寿子	日本バドミントン協会監事

※委員は9名までとする(外部3名以内、評議員3名以内、理事監事3名)。
現執行部は過半数を超えない。会長及び専務理事は委員長に就任できない。

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



克服すべき課題3 【監督と執行の未分化】

大半の理事会メンバーが業務執行を兼任。



理事は20名近くの人数を要している。
監督機能不在の脆弱なガバナンス。

【監督と執行の分離】

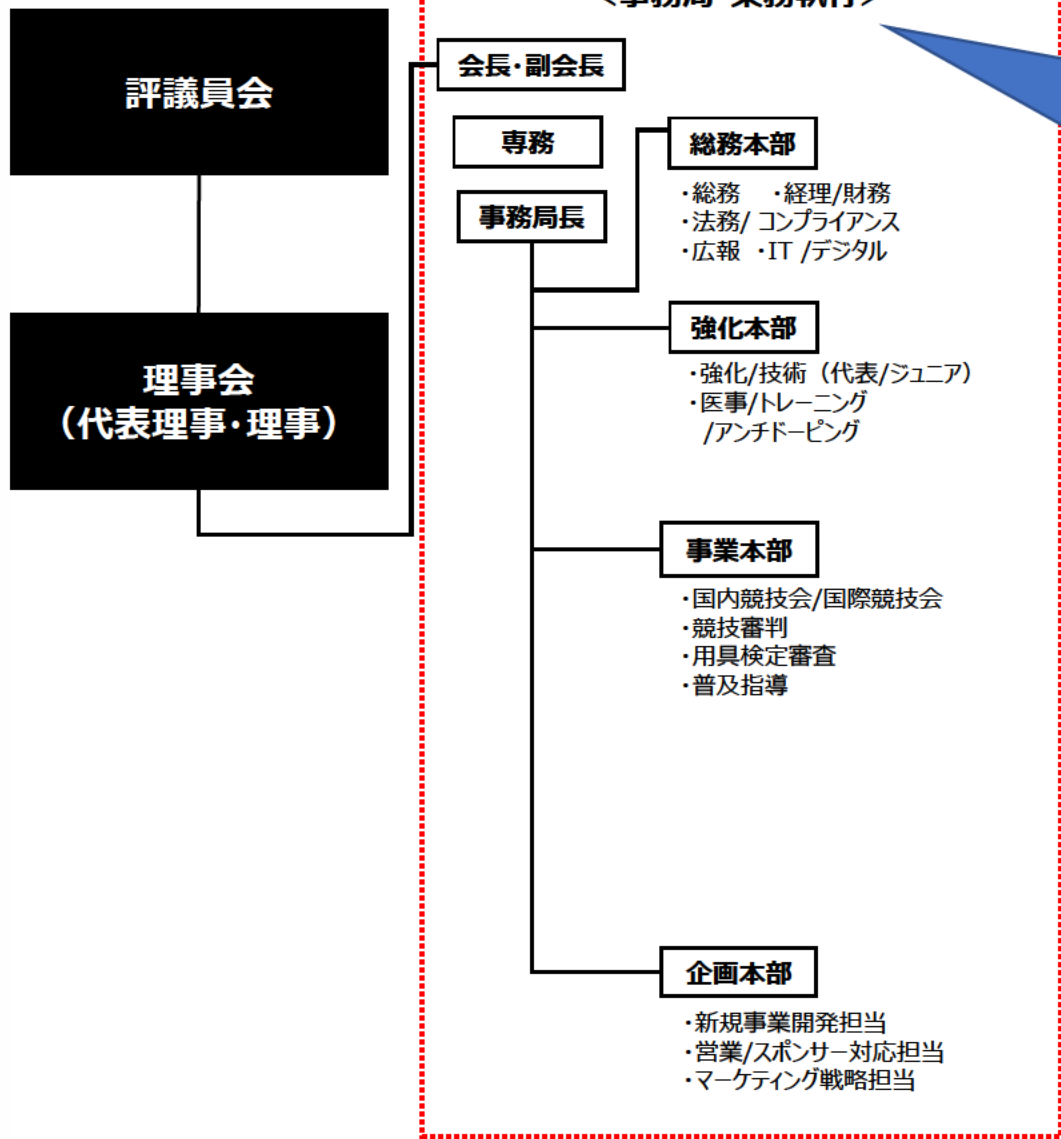
- ・理事会は監督機能に特化し、10名以内に。
- ・執行機能(本部長)は理事と兼任しない。
- ・監事は理事の監督役として強化する。

理事会構成

業務執行理事	業務執行理事(代表理事=会長)	理事10名のうち男女比率は5:5をめざす。
業務執行理事	業務力行理事(代表理事=副会長)	
社外理事	(おもな経験やスキル) ・公認会計士、財務会計関連 ・弁護士、コンプライアンス関連 ・企業経営者 ・アスリート委員(バドミントン) ・アスリート(他競技) ・デジタル関連 ・組織人事関連 ・国際関連 ・地域創生、SDGs、サステナビリティ関連	
社外理事		
社外理事		
社外理事		
社外理事		
社外理事		
社外理事		
社外理事		
社外理事		
監事	監事(バドミントン関係から)	監事3名のうち女性は1人以上
社外監事	公益法人などのマネジメント経験者	
社外監事	公認会計士、税理士	

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



克服すべき課題4 【脆弱な事務局】

専任事務局員不足、ノウハウも蓄積されない。



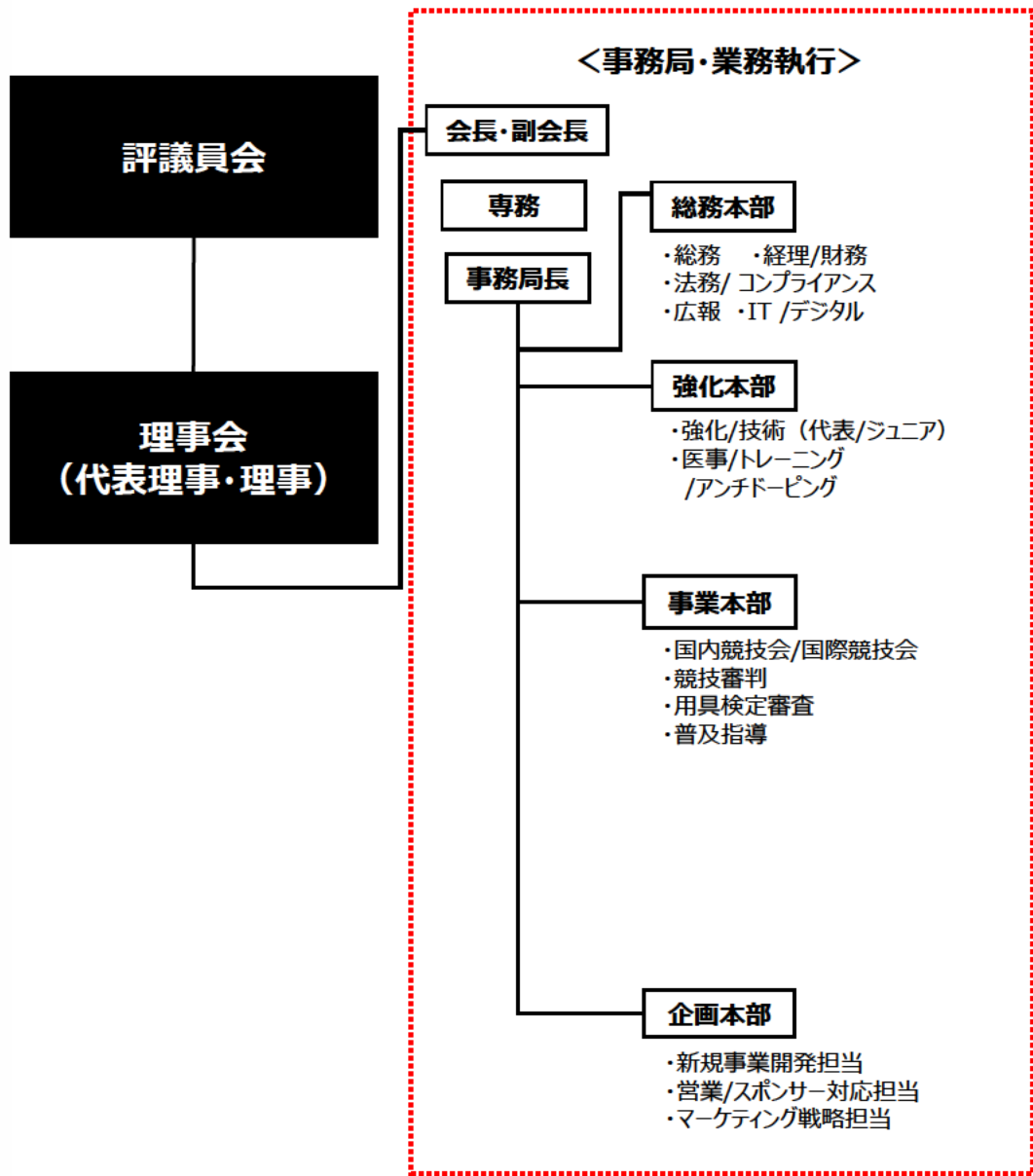
ボランティア的体質からの脱却

【事務局の強化】

- ・本部長は常勤を基本とし、責任を明確に。
- ・兼業型職員も登用し、プロ人材も活用。
- ・プロボノ的な働き方やVIK型契約形態なども検討していく。

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



克服すべき課題5 【神経系統の未整備】

ステークホルダーの声が拾いきれない。決定したことが、伝わらない。



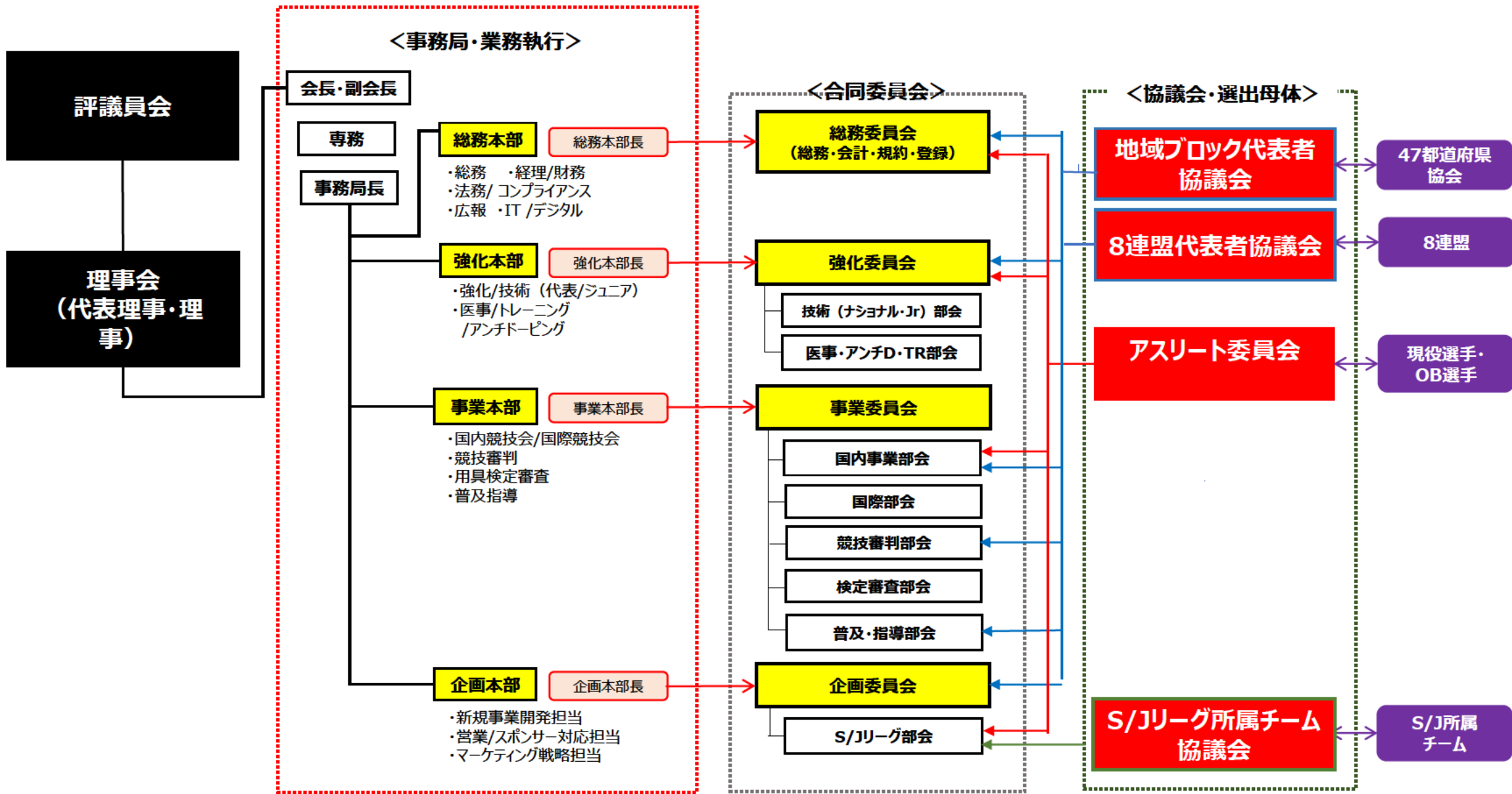
疑心暗鬼が渦巻く学閥、派閥を生む構造

【オールバドミントン】

- ・アスリート委員会の組成。
- ・地区代表、連盟代表等による合同委員会。
- ・情報公開とフィードバックの文化醸成。

公益財団法人日本バドミントン協会組織図

2023年5月14日現在



新アスリート委員会の構造

日本バドミントン協会理事_合計10名



理事会への意見の提言

選手会関係者へフィードバック

委員長

＜アスリート委員会＞

選手会

S/Jリーグ1, 2の所属企業から選手代表1名ずつを選出する

プロ契約
選手

支援・提言

アスリートアドバイザリーボード(AAB)

自身の経験に基づき、現役選手の環境整備に向けて提言を行う(10名以内、50代まで)

2023年度 改革のロードマップイメージ

【ステップ0 コンセプトの共有】

相似形、外の目、プロの目、監督と執行の分離、事務局の強化、オールバドミントンの委員会、天日干し経営など。
ガバナンス改革の原型はバドミントン内部から提起された。

【ステップ1 ガバナンス改革】

6月18日の評議委員会での船出

【ステップ2 ミッション・パーパスの言語化】

コミュニティ設計のプロフェッショナルとの連携

【ステップ3 全体ビジョンの策定と4本部の中期計画の策定】

事業、予算、人事の同期と透明性の高いコミュニケーション



Thank you